

●希望に向かって

新成人1,855名が大人への第一歩



アフリカの民族打楽器
「ジャンベ」の演奏で大人の主張

1月8日、「成人の日」に、第53回狭山市成人式が行われ、今年は、市内1,855名の新成人が大人の仲間入りを果たしました。式典では、新成人を代表し各中学校出身の方が自らの生き方や社会への思い、未来の希望や夢を話し、出席者は真剣な表情で聞き入っていました。

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

●一年の安全を願って...消防出初式



一斉放水で、青空に虹がかかりました



1月7日、上奥富運動公園で消防出初式が行われ、607名が参加しました。消防署職員や消防団員、女性消防協力隊などの分列行進や太鼓の演奏などのアトラクション、大型バス事故対応訓練などが行われ、最後に消防署、消防団、自主防災組織による一斉放水で締めくくりました。



マンション周辺の清掃に参加した36名の会員

鵜ノ木第七自治会は、平成に入ってから完成した中銀稲荷山公園マンションの住民で構成する比較的若い自治会です。現在は、155世帯の会員がさまざまな活動を行っています。体育祭や防災訓練、ソフトボールの試合など連合会活動への参加から、そば打ち道場や先輩を囲む会、コンサートなどの会員の親睦を図るイベント、そして近隣との交流を図る中銀まつりなど、毎年、趣向を凝らして行っています。気持ちの若い、団結力と行動力を備えた自治会です。

うがき自治会

鵜ノ木第七自治会

公式モバイルサイトで市内の史跡を巡るコースを多数紹介しています。ぜひご覧ください。

狭山の史跡 清水宗徳之墓

所在地上広瀬 976 - 1



清水宗徳は天保14年12月11日、上広瀬村の名主の長男として生まれ、地方政治や国政地域の殖産興業で大活躍した宗徳は、明治20年前後の企業勃興期に、川越から入間川・所沢を経て国分寺に至る川越鉄道現在の西武鉄道の敷設に執念を燃やし、明治28年3月21日に全線を開通させました。前代議士清水宗徳之墓と刻んである墓石は、玉石の台座の上に建ち、その下には鉄道の軌道として使用された2本のレールが供えられています。

清水宗徳は天保14年12月11日、上広瀬村の名主の長男として生まれ、地方政治や



● 柏原中学校
女子バスケットボール

私たちは、試合相手に気持ちで負けないように、普段から大きな声を出して、元気よくプレーすることを心掛けています。先月行われた冬季市内大会でもその気持ちを忘れずプレーし、見事優勝することができました。現在は、この勢いを持続し、昨年とはあと一歩で逃してしまった県大会への切符を手に入れるため、さらに練習に励んでいます。

英語活動支援員

エイゴカツドウシエンイン

重光久美子さん
(入間川東小学校勤務)



ALTとして勤務は3年目
趣味は自然の中を歩くこと
好きな言葉は「ひとは鏡」

To tell the truth, I didn't like English when I was young. I used to get nervous during my English class. Consequently, I didn't want my three children to be like me, so I listened to very easy English stories or sang English songs with them almost every day. To keep their attention, I used to do funny actions along with the tape. One day I was very surprised to see that one of my children imitated the lines very well. Several years later, I went to Australia with my children to teach Japanese. Of course, I taught Japanese using a lot of the same exciting activities I had used when my children were young.

実は、若いころ、私は英語があまり好きではなく、英語の授業になるとよく縮こまっていた。そこで、自分の子ども達には、私のようになってもらいたくないと思い、毎日一緒に簡単な英語の話を聴いたり、歌を歌ったりしていました。テープに合わせて面白い身のこなしをして、子どもを飽きさせないために工夫をしていたところ、ある日、子どもがテープの英語を上手にまねたので、とても驚きました。何年かして、日本語を教えようと、オーストラリアに渡りましたが、もちろん、オーストラリアの子ども達にも、かつて自分の子どもにしたのと同じ、ワクワクゲームで、日本語を教えてくださいましたよ。(英文の要約)

● 豊かな声量と琵琶の音色に魅了されて

130名の皆さんが琵琶の美しい音色を楽しみました



1月18日、富士見公民館で土佐琵琶の演奏会が行われました。琵琶は、主の語り」にBGMとして添えられる音源で、楽器自体もめずらしいため、生演奏を聴ける機会はなかなかありません。参加者は、演奏と演奏者・黒田月水さんの琵琶にまつわるお話などを堪能しました。

● 落ち葉掃きで資源循環型農業を体験



1月20日、赤坂の森公園周辺で、落ち葉掃き体験が行われ、61名の参加者は、昔ながらの農業をとおして自然の大切さを学びました。

● お正月の伝統行事 繭玉飾り



最後に、おいしいお団子を食べ
て大満足の園児たち

1月10日、奥富公民館で繭玉づくりが行われました。これは、繭に見立てた団子を山桑や柏などの枝にたくさん飾り付け、繭が豊かにできることを祈りお祝いする正月の行事です。当日は、19名の奥富幼稚園の園児が、紅白の団子をきれいに飾り付けました。

● 世代を超えた交流の場 いりそ音楽祭

1月14日、入曽多目的広場の狭山・入曽パークで、第1回いりそ音楽祭が行われ、力強い歌声や演奏と地域のまとまりで、音楽のまち「いりそ」への一歩を刻みました。

